

令和5年度
 歳出決算額を町民1人
 当たりで計算すると… **97万3,270円**

住民基本台帳人口
 6,076人
 (令和6年4月1日現在)

議会費 1万1,561円

議会の運営などに使われた経費

総務費 33万4,296円

行政の運営、庁舎や財産の維持管理などに使われた経費

民生費 18万699円

子どもからお年寄りまで幅広い福祉の充実などに使われた経費

衛生費 6万5,552円

保健衛生、健康づくりやごみ対策などに使われた経費

農林水産費 4万4,448円

農業や畜産などの振興と育成のために使われた経費

商工費 7,633円

商工業の振興や育成のために使われた経費

土木費 8万2,410円

道路や公園などの維持管理や整備、道路の除雪などに使われた経費

消防費 3万8,059円

火災や自然災害などの防災活動のために使われた経費

教育費 8万6,648円

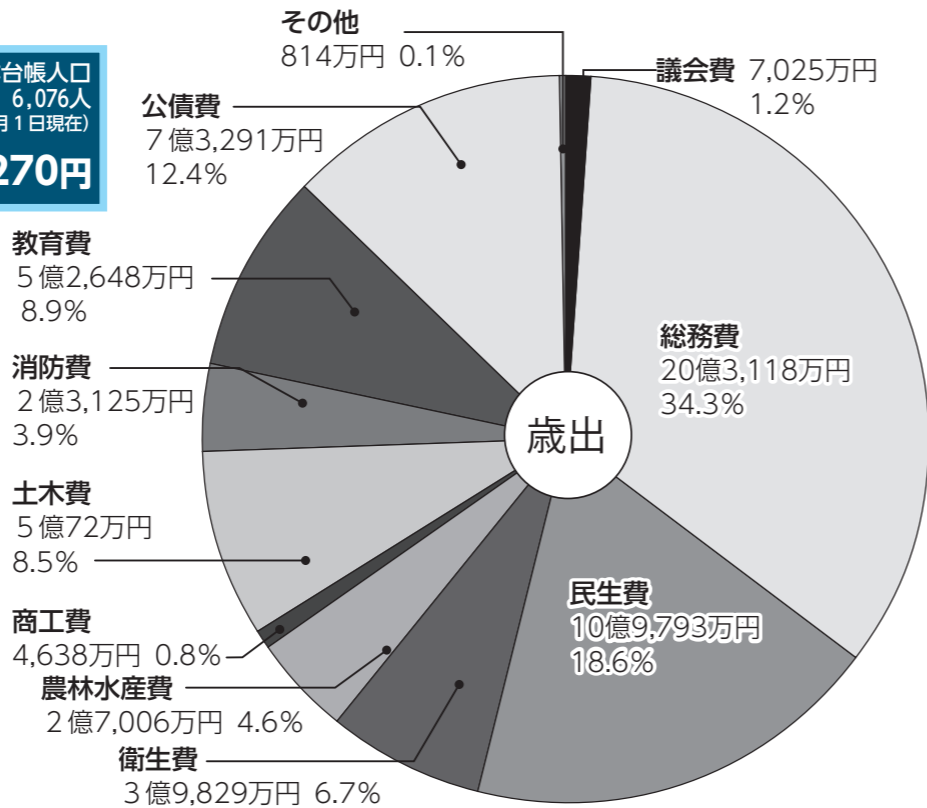
学校などの維持管理や教育振興に使われた経費

公債費 12万6,24円

借り入れた町債の元利償還費などに使われた経費

その他 1,340円

労働費・災害復旧費・諸支出金・予備費など



一般会計歳出総額
59億1,359万円

■財政指標等でみる町の財政状況

財政力指数

令和5年度 0.218
 令和4年度 0.221

？ 財政力指数

標準的な行政サービスを提供する経費のうち、町が自前で調達できる財源(町税や使用料等)がどのくらいかを表した数値。1に近いほど自前で資金を調達でき、財源に余裕があるということを示しています。大石田町では財源の約22%を自前で調達し、残りを国や県に依存していることを表しています。

実質公債費比率

令和5年度 11.0%
 令和4年度 11.9%

？ 実質公債費比率

町の財政規模に対して、公債費(借金返済額)に相当するものなどがどれくらいの割合なのかを示す比率です。25.0%を超えると国または県の管理下で財政運営をすることになります。

※実質赤字比率、連結実質赤字比率は黒字のため比率がありません。また、簡易水道特別会計、農業集落排水事業特別会計の資金不足額はありません。

将来負担比率

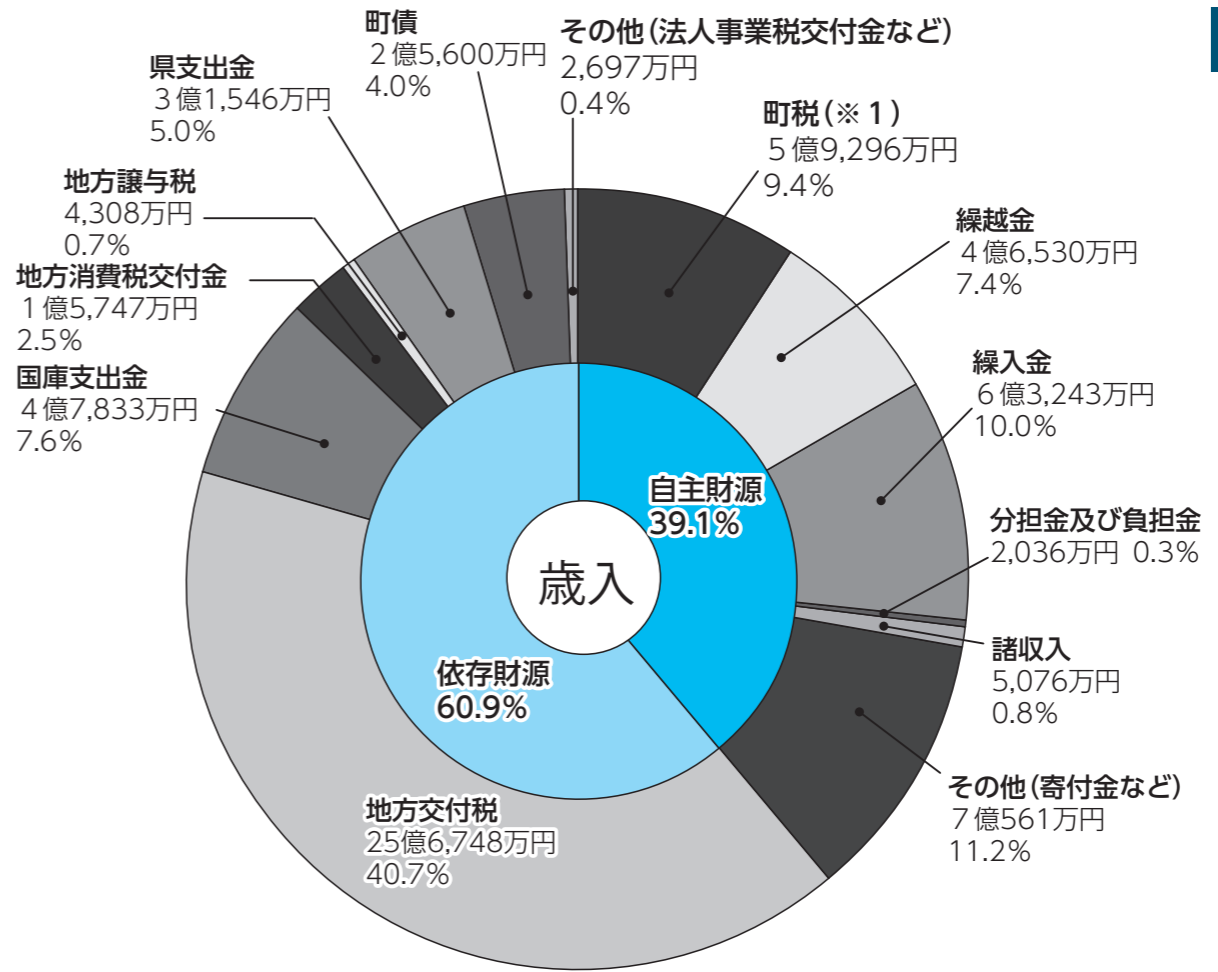
令和5年度 17.3%
 令和4年度 41.3%

？ 将来負担比率

町の財政規模に対して町が将来支払っていく負担等を表す比率です。350.0%を超えると国または県の管理下で財政運営をすることになります。

令和5年度一般会計歳出決算額は、59億1,359万円となりました。歳出は、統合小学校整備事業の着手や町道南通線無散水消雪道路改良工事が進捗したことなどから普通建設事業費が増額となりましたが、新型コロナウイルススワクチン接種体制確保事業の減額などにより、歳出全体としては、1億8,150万円の減額となりました。歳入全体は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などが減額となったため、2億4,818万円の減額となりました。

物価高の影響を受けたが、新型コロナウイルス感染症が5類移行、暖冬の影響により、歳入歳出ともに減少



一般会計歳入総額
63億1,221万円

(※1)町民税 2億4,571万円、固定資産税 2億9,714万円、軽自動車税 2,972万円、市町村たばこ税 264万円、鉦産税 33万円、都市計画税 1,742万円

■令和5年度歳入歳出決算額及び対前年度比較表

(単位：千円、%)

区分	歳入決算額	歳出決算額	歳入		歳出		
			前年度比較	増減率	前年度比較	増減率	
一般会計	6,312,209	5,913,593	△248,183	△3.8	△181,501	△3.0	
特別会計	国民健康保険	857,662	764,361	△19,994	△2.3	△54,492	△6.7
	次年度簡易水道	9,795	9,795	1,896	24.0	1,897	24.0
	農業集落排水事業	74,555	74,555	△5,353	△6.7	△5,353	△6.7
	介護保険	962,229	888,292	△1,181	△0.1	△3,688	△0.4
	後期高齢者医療	116,620	114,984	16,475	16.5	23,840	△26.2
一般会計+特別会計	8,333,070	7,765,580	△256,340	△3.0	△219,297	△2.7	

町議会9月定例会で令和5年度の大石田町決算が承認されました。町の予算は、町民の皆さんが納めた税金をはじめ、国や県からの補助金や地方交付税などで構成されています。財源の内訳や町に入ってきたお金がどのように使われたのか、一般会計を中心に概要をお知らせします。